

豊田市立五ヶ丘小学校

<本校の道徳の重点目標です！>

思いやりの心を持ち、自分と異なる意見や立場を大切にする子を育てます。

<1・2年生では>

○友達と仲良くし、助け合うことができる。○誰にでも温かい心で接し、親切にすることができる。

<3・4年生では>

○相手の気持ちになって考え、励まし合ったり、助け合ったりできる。

○相手の立場を理解し、互いに信頼し、助け合うことができる。

<5・6年生では>

○誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立ち、広い心で接することができる。

○互いの良さを認め合い、異なる意見や立場を大切にして、協力し助け合うことができる。

「ひろげよう ふわふわ言葉で みんなの笑顔」をテーマに学校保健委員会を開催しました。全校児童のアンケートを基に、保健委員会とスクールカウンセラーの先生と一緒に、ふわふわ言葉の良さや相手がうれしくなる言葉の伝え方について考えました。



保健委員の発表



言われてうれしいふわふわ言葉のベスト5の発表

言葉に関するアンケート結果、人から言われてうれしいふわふわ言葉の第1位は、**ありがとう**でした。

ふわふわ言葉・ちくちく言葉の体験談の発表では、代表児童の具体的なエピソードを聞き、言葉によって元気になったり、傷付いたりすることがあることに気付くことができました。



ふわふわ体験

「頑張れ！」と励まされて、やる気が出ました。私も、友達や低学年の子が元気になるような言葉を掛けてあげたいです。

スクールカウンセラーの先生と一緒に考えてみよう

褒めてくれてうれしいな！

いつも頑張ってるね！

①ちくちく言葉・ふわふわ言葉を使った場合の相手の気持ちは、それぞれどう

違うでしょうか？ 委員会児童の劇を見て考えてみましょう。

●ちくちく言葉を使うと、相手の気持ちは？・・・「悲しい」「傷付く」「嫌な気持ち」

●ふわふわ言葉を使うと、相手の気持ちは？・・・「やる気になる」「うれしい」「元気」

②ふわふわ言葉がもっとふわふわになるポイントは、
相手の目を見て、はっきりと、笑顔で伝える！

③全校一斉ふわふわ体験

『ふわふわになるポイントを意識して、「ありがとう」を伝え合いましょう』

ありがとう！



ありがとう！

(目を見て、はっきりと、笑顔で)
ありがとう！



目を見て笑顔で言ってもらえると、すごく気持ちが伝わるので、みんなこれからも笑顔でありがとうを伝えていきましょう！



＜家庭・地域の皆様へ＞

家庭や地域でも、心を込めてふわふわ言葉を使い、学校、家庭、地域、どこでもみんなで笑顔いっぱいの五ヶ丘地区をつくっていきましょう。